

— LAN ケーブルテスター取扱説明—



リモートターミネータ COAX コネクタ
角形電池 1 本 TEL 用アタッチメント
同軸ケーブル 2 本 ベルト装着器具

1) LAN モードでのテスト (LAN MODE)

① MAIN と LOOP BACK のポート (LOOP の表示)

-使用方法-

- ・ LAN ケーブルの両端 MAIN と LOOP BACK のポートに接続
- ・ LAN または、TEST ボタンを押す

-テスト項目-

- ・ 導通、オープン、ショート、クロス、スプリットの問題ある結線をディスプレイに表示
- ・ F T P ・ U T P ケーブルのテスト

◎正常な場合の表示— PASS の表示

◎問題がある場合の表示

- ・ FAIL OPEN (断線になっている配線の数字)
*断線箇所までの距離が短すぎる場合、表示しない場合がある
最低 1 M 以上の距離が必要
- ・ FAIL SHORT (ショートしている配線の数字)
- ・ FAIL CROSS (クロスしている配線の数字)
- ・ FAIL SPLIT (スプリットしている配線の数字)

② MAIN とリモートターミネータのポート (REMOTE の表示)

-使用方法-

- ・ LAN ケーブルの両端 MAIN とリモートターミネータのポートに接続
- ・ LAN または、TEST ボタンを押す

*テスト項目、正常な場合、問題のある場合の表示は LOOP BACK と同じ



2) TEL モードでのテスト (TEL MODE)

① MAIN と LOOP BACK のポート (FOR C の表示)

-使用方法-

- ・ 付属の TEL 用アタッチメントをコネクタに取り付け
電話ケーブルの両端 MAIN と LOOP BACK のポートに接続
- ・ LAN または、TEST ボタンを押す

-テスト項目-

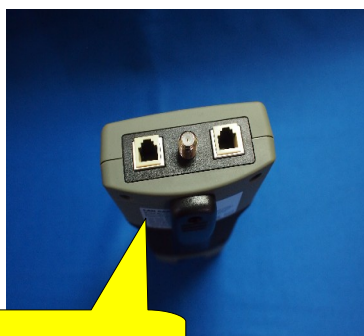
- ・ 導通、オープン、ショート、クロス、スプリット
の問題ある結線をディスプレイに表示
- ・ ケーブルが断線、結線不良になっている場合、MAIN ポート
から不良箇所までの表示

◎正常な場合の表示- PASS の表示

◎問題がある場合の表示

- ・ FAIL OPEN (断線になっている配線の数字)
* 断線箇所までの距離が短すぎる場合、表示しない場合がある
最低 1 M 以上の距離が必要
- ・ FAIL SHORT (ショートしている配線の数字)
- ・ FAIL CROSS (クロスしている配線の数字)
- ・ FAIL SPLIT (スプリットしている配線の数字)

* ▲▼ のボタン操作で 6 C、4 C、2 C の選択可能



TEL 用アタッチメント使用



TEL コードのクロス確認

3) COAX モードでのテスト (COAX MODE)

- ・ COAX ケーブルを本体とリモートターミメータの
COAX コネクタに接続します。

(コアキシャルケーブルと同軸ケーブルのテスト)

-使用方法-

- ・ 付属の TEL 用アタッチメントをコネクタに取り付け
電話ケーブルの両端 MAIN と LOOP BACK のポートに接続
- ・ LAN または、TEST ボタンを押す

-テスト項目-

- ・ 導通、オープン、ショートなど、
問題ある結線をディスプレイに表示

- ・ ケーブルが断線、結線不良になっている場合、本体のCOAXコネクタから不良箇所までの表示

◎正常な場合の表示— PASS の表示

◎問題がある場合の表示

- ・ FAIL OPEN (断線になっている配線の数字)
 - *断線箇所までの距離が短すぎる場合、表示しない場合がある
最低1M以上の距離が必要
- ・ FAIL SHORT (ショートしている配線の数字)



4) TONE モードでのテスト (TONE MODE)

- ・ ケーブルに特殊な音声信号を送信し、プローブ（別売り）で受信することにより、ケーブルの不良箇所を検出
 - ・ プローブは、LAN-T256712 に対応
- (▲▼)ボタンを押すと信号を出力するペアを選択
(◀ ▶) 出力信号の周波数の変更



5) LENGTH モードでのテスト (LENGTH MODE)

- ・ どこにも接続されていないケーブルの一端を MAIN ポートまたは、本体の COAX コネクタに接続します (LAN ケーブルと COAX ケーブルの長さ計測)
- ・ LENGTH モード選択、TEST ボタンを押す

① LAN ケーブルの表示

◎測定結果一例=LAN Cable (Pair1: 304M)

注意 : LAN ケーブルの両端を MAIN とリモートターミネータのポートに接続している場合測定出来ません。

例=LAN Cable (Pair1: OVER)

② COAX ケーブルの表示

◎測定結果一例=COAX Cable (Length: 99.9M)

注意 : COAX ケーブルの両端を MAIN とリモートターミネータのコネクタに接続している場合測定出来ません。

例= COAX Cable (Length: OVER)

補正 : 計測結果に誤差がある場合、SETUP モードの「LAN または COAX Cable ADJ」の機能で補正を行うことが出来ます。また工場出荷時に戻すことも出来ます。



5) **SETUP モードの使用法 (SETUP MODE)**

・ SETUP モードで設定を行った場合必ず「MEMORY」で変更を保存

①単位の設定 (1.Unit)

◎1.Unit 選択

(◀ ▶) 単位の変更=M:メートル FT:フィート

②LAN ケーブルの長さ計測補正

◎2.LAN Length Adj(TEST KEY 点減)選択

・ 長さが分かっている LAN ケーブルの一端を MAIN ポートに接続
* ケーブルのもう一端は接続しないでください。

TEST ボタンを押し長さを計測

(◀ ▶) で長さの情報を補正 *MEMORY で保存

③COAX ケーブルの長さ計測補正

◎3.COAX Length Adj(TEST KEY 点減)選択

・ 長さが分かっている COAX ケーブルの一端を COAX コネクタに接続
* ケーブルのもう一端は接続しないでください。

TEST ボタンを押し長さを計測

(◀ ▶) で長さの情報を補正 *MEMORY で保存

④ブザーの設定 (Buzzer)

◎4・Buzzer 選択 ON・OFF 選択後 *MEMORY で保存

⑤バックライトの設定 (Back Light)

◎5. Back Light ON・OFF 選択後 *MEMORY で保存

⑥工場出荷時の設定に戻す (Restore Default)

◎6. Restore Default を選択

・ YES 設定が工場出荷時に戻る ・ No を押すと全画面に戻る

6) **MEMORY 機能**

テスト後に MEMORY ボタンを押すとテストデータが保存出来ます。

《MO-1～MO-8 まで 8 個の保存が可能》

■MEMORY ボタンを 3 秒間以上長押し=保存したテスト結果の表示

* 結線不良の場合数字が点滅します。

■MEMORY 表示中にテストボタンを押す

YES — ALL CLEAR

No — 全画面に戻る

*** 自動電源 OFF について**

5 分以上操作がない場合、自動で電源が切れます。

・ TONE モードのみ 30 分後電源が OFF になる

